TAIHEIYO CEMENT
NEWS LETTER

２０２０年１月７日

岩手県大船渡市におけるバイオマス発電の営業開始について

太平洋セメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：不死原正文、以下「太平洋セメント」）とイーレックス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：本名均、以下「イーレックス」）との共同出資により設立した大船渡発電株式会社（本社：岩手県大船渡市、代表取締役社長：相良安廣、以下「大船渡発電」）の大船渡バイオマス発電所（太平洋セメント大船渡工場内）は、2020 年 1 月 1 日に営業運転を開始いたしました。

当社は、自家発電設備の運転により発電技術の蓄積がなされていること、温室効果ガス排出抑制に寄与することなどから、2016 年 7 月にイーレックス社と共同でバイオマス発電事業を行うこととしました。

この度、大船渡発電大船渡バイオマス発電所が竣工し、2020 年 1 月 1 日より営業運転を開始しました。主な燃料はバイオマス燃料であるパームヤシ殻（PKS）とし、「再生可能エネルギー固定価格買取制度」を活用するもので、今後 20 年にわたり発電・売電する計画です。

当社は本事業を通して、環境に優しい再生可能エネルギーの普及を促進すると共に、雇用の創出等により地域経済の活性化に寄与してまいります。

＜事業会社の概要＞

会社名	大船渡発電株式会社
本店所在地	岩手県大船渡市赤崎町字跡浜 21 番地 6
設立日	2016 年 8 月 5 日
資本金等	40 億円
出資構成	太平洋セメント 65%、イーレックス 35%
業務内容	電力卸供給事業および附帯関連する一切の事業

＜発電設備および電力卸供給事業の概要＞

所在地	岩手県大船渡市赤崎町字跡浜 21 番地 6 （太平洋セメント大船渡工場内）
発電設備	循環流動層ボイラ、再熱式蒸気タービン採用
発電出力	75MW
発電・売電	発電した電力は全量イーレックスに売却
燃料	パームヤシ殻（PKS） 他
年間発電電力量	約 520,000MWh 一般家庭の約 119,000 世帯分の年間電力消費量に相当 約 308,000 トン／年の CO2 削減に貢献する

太平洋セメント株式会社
〒135-8578 東京都港区台場2-3-5　台場ガーデンシティビル

＜大船渡発電大船渡バイオマス発電所の外観＞

＜本件に関する問合せ先＞
太平洋セメント株式会社　総務部ＩＲ広報グループ
TEL. 03-5531-7334　FAX. 03-5531-7551